

能登の祖廟

大本山

總持寺祖院を
訪ねて

元享元年（一三三二年）に瑩山禪師が開き、永平寺と並ぶ曹洞宗の大本山として栄えてきた總持寺。明治三十一年（一八九八年）の大火で伽藍の多くを焼失し、本山は神奈川県鶴見区へと移転したが、いまも祖院としての幽玄な姿を湛えている。残念なことに、二年前の大地震で再び伽藍の多くが損傷を受けたが、懸命な修復作業が今なお続けられている。